

# 日曜日には TVを消せ

No.9 PART II



フジテレビ 動画 第9.00

新番組  
新・座頭市

旅のやくざ跡吉が八州回り役入  
(江見太郎)に切られ、死き  
新太郎に託した。市は人形を留

めに姫御の小さな道場に安置を  
助けて、そこでは死んだ跡吉  
女房おじの(こじあみ)が幼い  
娘がよ(姫御達)を抱えて細々  
と語り合っていた。市は、跡吉の  
死を隠さず、いじめじめじめ  
泊まりながら、土産の匂が立ち  
ぬけたまま、死んでいたことを知  
る。悲しみを演じて、子役の飯

みが好  
いし  
だ  
あ  
ゆ

おのの葉(おのの葉)を抱えて細々  
と語り合っていた。市は、跡吉の  
死を隠さず、いじめじめじめ  
泊まりながら、土産の匂が立ち  
ぬけたまま、死んでいたことを知  
る。悲しみを演じて、子役の飯

(武)

## ⑥ 第1回 情けの忘れ駆除

[東条正年・沖守彦 - 勝新太郎]

間八州の役人に斬られた跡吉に託されて、ひな人形……このひな人形の顔と、かよ(飯島洋美)がそっくり。殺陣シーンにティンパニーが鳴る。音楽は「顔役」の村井邦彦である。無名の市から座頭市への転換は、形こそちがえ、月光仮面やまぼろし探偵、それに1977年のようないい日常の顔とヒーローの顔のふたつを持つ「正義の味方」と共通なものがある。こういつ設定だと、市が有名だからこそ、二セ市が出現した「二人座頭市」のような話は成立しない。

撮影・森田富士郎

[10月4日]

\* 1977. 5. 8

## \* 特集《勝新・新座頭市》

### \* 製作 PHC-TV(新宿-足柄)

神奈川県足柄上郡大井町金手1099

池田博明 (YOTA)

⑦ 258 TEL. 0465-82-4466

治宗俊(勝新)、3人の3種の感情を無言(立場のちがい)のうちに描破してみせた。太田昭和だが、この「父恋い子守唄」はそれ程ではない。「三途の川」…とは、大人の恋愛ドラマとして、大胆であり、みごとである。おつやは、川でひろわれた子だ。こんな風にいう。「今度生きてくる時は男に生まれてくろんだ。そして好きな女を…一生大事にしてやるんだ」いい感じ。ラスト、おつやの死体を船にのせ、川へかえしてやる…。

2月2日(1976)放映の「雪に舞う女の絵草紙」(脚・尾中洋一・直居鉄哉)も十朱率代主演で、みごとだった。

演出は太田昭和でも、撮影者がちがうからかもしれない。「父恋い…」は渡辺貞、「雪に舞う…」は牧浦地志。太田昭和の「蜘蛛の湯女」(撮・牧浦地志)については、「観覧車」'73.12月号、秋本鉄次の「名画探険」を参考に。(次頁参照)。 [10月11日]

## ⑦ 第3回「潮来の別れ花」

[下飯坂蘿馬 - 井上昭]

十朱率代・津川雅彦が演。津川はロハ丁、市の仕込みをうばおうとする。市に刺されて「…?...?」刺されんのか? いてえ…死にたくないねえよ…抜いてくれ」。東は確病けむたらしー上にはへつらい下には、あたるといい男を演じた。

## ⑦ 第2回「父恋い子守唄」

[佐藤繁子 - 太田昭和]

旅の途中、母が死んで孤児となってしまった市左エ内(羽田勉)は、追分の油屋の主人の落レダメ。番頭は莫れ人と共謀して、市左エ内を殺そうと、手先を派遣する。手先の男に岸田森。紬一家の女親分おりん(宇津宮雅代)の兄(新田昌玄)は、父の仇と、隠居した弥三郎(辰巳柳太郎)をねらう。弥三郎は、おりんのあじで、決して、父の仇ではないのだが…。

「河内山宗俊」の「三途の川」は空ッ風」(脚・尾中洋一・直居鉄哉)で、お轡に対する金子市(原田芳雄)、森田屋(大滝秀

前半)、市は強さを知らない悪親

が、もみ撲治で市を手ひどく扱う。市はおとなじひな下が

が、次第に本性の強さを出していくところが面白い。

市(の)新らしさだ。この第

「痛快! 河内山宗俊 — 三途の川は空ッ風」1975.

<フジ 第9.00> 11.24



市之丞はふとしたことでお友人・辰三郎の苦境を救うため、市之丞は壁屋重兵衛から森田屋清蔵殺しを引き受けた。清蔵の寝込みを襲った市之丞は、同じ部屋でお馴の姿をみて驚く。剣先を鍔らせた市之丞は逆に手傷を負った。

渡し場で会った女に再会

「場に上りかって金を得る」

Y-T-S-I-T-V [後9・8] 座頭市(勝新太郎)は、我孫子の宿の渡し場で、舟から降る時手を差しのべてくれた幸運をうなぎの足で十朱幸代の、温かい

このひらの感謝がいつまでも忘れないなかつた。出来の逸物で市は、娘らしいおとこを再会。妻三郎(井川雅彦)の危難を救つたために着物に身を沈めたのだ。だが、座頭は、ちよつといつ男ときわらかに弁吉を武闘で、女をだましては姉郎に見つかりたどり小巣。市には、人間のくすのよいた男だ。じとんつくすおんのいじしさが襲つた。おとんの身受けの金の裏聲だ。市は、やくさ五郎(高橋志の輔)の腰袋(こば)に上りかつた。

文五郎の一  
石橋道司。  
次萌子。

撮影 森田  
富士郎

(10月18日)

⑥第4回「月の出の用心棒」  
[池田一朗・岩元南・太田昭和]



ふくふく 情感のある映像がます  
とえたものよい。  
まる、その男が失明しかけ

この秋も、たくさんへ、さ  
あさま新番組が登場した。

十五日の「月の出の用心  
棒」は、ゲストに石原裕次郎  
を迎えていた。

石原ふくすむ武志ほか、主婦  
で、妹と繋がりした同母を

テレビ、月曜、  
後9・8(火)特  
に質のいい映像

### 情感ふくらむ「新・座頭市」

おがれた。

石原は、絶の達人ではな

い作品といつていいだの。座  
頭市のケタはずれな強気や、  
いのちを張りて生きてきた  
掛け句、思ひもわからず一  
モアが、毎回、慈愛をついた  
工夫で生き生きと描かれて  
て、楽しい。前シリーズだと  
ある仕様がどう……。

⑦第6回「師の影に  
泣いた」[大塚稔・  
岩元南・南野梅雄]

10・27 ヨミウリ

撮影・森田富士郎 10月25日  
⑧第5回「牢破りいそぎ旅」  
[中村努・岩元南・太田昭和]  
太田昭和連投。撮影・牧浦地志。市の目のアップ、唇の  
アップ。第1回の間ハ州の役人  
を斬ってリュートがモーターリュ  
エス。

撮影・牧浦地志 11月1日

脚本と引き立てる



柴田謙子と藤井太郎

蜘蛛の湯女(70年大映)

不遇の傑作！成仏できず？

秋本鉄次

大映崩壊して2年目の秋がやってきた。その大映最後の映画「蜘蛛の湯女」が珍しく先日、新宿昭和館地下にかかった。この不遇の傑作の供養でもするつもりで再見した。やっぱりスゴイ！

思えば、'71年後期は日活も一時的に製作中止した。しかし日活はその後まもなくロマンポルノとして美事に転生をはたしたし、タイミング遅れながらも藤田敏八の「八月の濡れた砂」はあり余る評価を今でも受けている。それにひきかえ、もっとみじめな大映は、まるで優勝決定したあのプロ野球の残り試合みたいに見捨てられていた。それくらいスタッフたちもヤル気なかったのだろうか？ 否である。勝新の気鋭の快作「領役」、増村保造の名作「遊び」、そしてこの新锐大田昭和監督の「蜘蛛の湯女」もまたあったのである。

人形淨瑠璃から…軒、大暴風雨の中の強姦シーンで始まるこの作品はまさに、堂々たる大映セット美学の総力を上げたような風格を持っている。てんで下らない男どもを尻目に、ソリソリ生きてる湯女たちの豪快らしさ。頗ぶれもスゴイ。相川圭子や田中真理も今より数段過激であり、イキも…、その他斎藤あかね、地井武男…、狂乱は父を刺青男に殺された怨みから、客の刺青男を次々殺し釜が焼く横山リエ、それを手伝う嘘の釜たき役の怪優常田富士男がラスト、殺した21人の男のしゃれこうべを流し盡職にするシーンの美しさは極め付けだ、ラストピクチュアを撮らざるハメになつたスタッフ達の万感の意もそこにある。

「秘録長崎おんな半」これも仲々いい。でチビューして2作目、大田監督さあこれから矢先だった大映崩壊。それならロマンポルノあたりで思いっきり活躍して欲しいのに、今どうしてるんだろう。TVか？ CMか？ もう洗つたかな？ とにかく彼の作品、今も成仏できず婆娘に迷うて出る始末。くわばらくわばら。



堅気になる決  
意もつかの間

Y-T-S-I-T-V [後9・8]

市(勝新太郎)は、かひの剣の  
間に再会。世間での幸福を



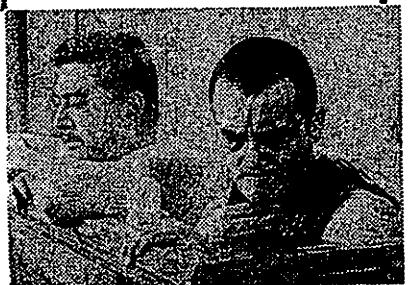
脚本と引き立てる



# 勝新太郎が緒形拳に盲目の心得を!?

新・座頭市「金が身を食う地獄坂」

<フジ 夜9.00>



の役は初めてとあってぎこちない。見かねた勝新

太郎が緒形を呼び二言、三言アドバイス。その上、

模範演技まで披露した。

これにはさすがの緒形も

「盲目の役なら、勝さん

の右に出る人はいません」と、すっかり感激。

市(勝)はある宿場で、

バクチ仲間だった権之助

(緒形)と再会した。権之助は

あくどい金貸し業で羽振りが

いい。ある日、市は見知らぬ

剣客に襲われた。権之助と間

違われたのだ。

TVガイド 12月24日

隠れ家も発見され、市(勝)は

おしおは勇姿

久しぶり出演  
Y-S-TV【後9・00】

△新・座頭市

物語「のぼり」回で、市(勝)がおじいちゃんの娘女郎にやんこ一ぱれの復讐を演じた。久々のおじいちゃん出陣だ。

「坊や、一度人を斬ると、また

おしおは市(勝)

の内で息を引き

る。弱者が強

者に看取られた

のではない。女が

男に看取られた

のだ。そして：

任きよりの裏

面のない生き

よ。肩で盛りつてからこぼく見え

るかもしないが、やくざなて

もお天道様の下を歩けないので

あります。弱者が強

者に看取られた

ではない。女が

男に看取られた

のだ。そして：

任きよりの裏



藤左衛門(田武謙三)

1月17日

撮影 森田富士郎

おしおを抱きしめる市

藤左衛門(田武謙三)

足掛け女郎お香が、加賀まり子。お

香は市(勝)の寝ている荒れ寺に身をかくす。

追手が来る。傑作なしリーフ「いたな、こ

のアマ!...なんだアンマじゃねえか」

(仙次を寝する蟹江敬三)。アップを

多用し、バラエティに富んだカメラ・アン

グルを見せる。撮影 牧浦此志。

美波吉(菅原太郎)、源八(小野川公

三郎)、他 池村純

1月 24日

新  
座頭市

1月 31日

大田原へきた市(勝)は飼育少年(新井つねひろ)の

家に泊まつた。母のおたき(中

村)は元親分の女房だった。

が、親分の死後は荒牛一家に

痛めつけられていた。

中村玉緒(と勝)

勝新太郎夫人の中村玉緒が  
ゲスト出演。テレビでの共演  
は三年ぶり、三回目。スタッ  
フはオーナー夫人といいう意  
味で、スタジオには笑い  
声が絶えず、なごやかな  
ムード。もちろん二人の  
からみは思もびつたり  
で、雑炊を食べているシ  
ーンでは勝が台本にはな  
いセリフをポンポン。が、  
玉緒は少しもあわてず受  
け答え、監督もさすが夫  
婦の芝居です。

▲ TVガイド 2月4日号

おせん(繪次前子) 他 緑川香  
撮影者失念。  
2月7日

「親分のかみさん」という意  
識で、スタジオには笑い  
声が絶えず、なごやかな  
ムード。もちろん二人の  
からみは思もびつたり  
で、雑炊を食べているシ  
ーンでは勝が台本にはな  
いセリフをポンポン。が、  
玉緒は少しもあわてず受  
け答え、監督もさすが夫  
婦の芝居です。

第18回「酔いどれ川」  
〔岩元南・中村努=太田昭  
和〕野川由美子出演。  
野川は宿場の居酒屋の女  
将。行方知らずの夫・赤之  
助(村井国夫)を探してい  
る。という。頬役の伝兵衛  
(金田昭彦)がやってきて  
は酔いどれた赤将おをを  
抱いていく。それを直樹に  
思ひながらも、どうしよう  
ない居酒屋の使用人茂助(左  
右田一平)。彼はお竜と赤  
いたいのだが、あまりに気  
が弱いのだ。赤之助が居  
つて来て……



第18回  
2月4日付 読売新聞

勝座頭市・竹馬に挑戦  
せる。勝座頭市が、悪魔たち  
からかわながら、ヨタタリ川  
の浅瀬を渡るシーンだ。子供のこ  
とにした勝だ。「よし、オレ」と物  
好きなスタッフが挑戦したのはよ  
り度す交渉に来た使用人(潮健志)の置いてい  
った着物を右に置き、左に自分が坐り、真ん  
中に腰掛け置いて、どちらをとるか迷はせるシ  
ーンがある。足は着物の方へ行きかけ、結局父の方  
(江木俊夫)とおちう(栗田どうみ)が、こち  
子宝騒動に際して、財津の味方をする結果と  
なる。旅を続けようとして宿を出た儀衛門は、刺客  
に殺される。撮影牧浦地志。3月7日。

勝新太郎夫人の中村玉緒が  
ゲスト出演。テレビでの共演  
は三年ぶり、三回目。スタッ  
フはオーナー夫人といいう意  
味で、スタジオには笑い  
声が絶えず、なごやかな  
ムード。もちろん二人の  
からみは思もびつたり  
で、雑炊を食べているシ  
ーンでは勝が台本にはな  
いセリフをポンポン。が、  
玉緒は少しもあわてず受  
け答え、監督もさすが夫  
婦の芝居です。

第19回「越後から来た娘」  
〔下飯坂菊馬・久貴千賀子  
リ 黒田義之〕純情な若い  
恋人同志おきよ(ジュディ・オン  
グ)と吾一(父野正平)の二人を  
悪代官柳田(岸田森)や、やく  
ざ伝馬の権大(中村祥治)と結  
託して食いもくにしようとする  
「むかわらじの悪僧元。か  
うの印入りの小判を盗んでしま  
り、その罪をふたりになすり  
つけようとする。「河内山宣後」  
〔岩元南・中村努=太田昭  
和〕野川由美子出演。



第19回  
2月4日付 読売新聞

第20回「いのち駒」「村尾昭  
一・南野梅雄・助監 小林正雄」  
かつて結婚を誓ったおゆき(松  
原智恵子)を、同門の悪らつな  
かけ将棋士・源三郎(石橋謹司)  
に奪われた棋士・宗達(内藤  
国雄)が六年後に宿命の対決。  
源三郎は、おゆきに惚れています  
が、罪悪感もあってか、宗達に  
嫉妬し、おゆきにもつらくなる。  
宗達に負けてくれとたのんでみて  
くれと強制する。おゆきのたの  
みを宗達は承諾する。三番勝負。  
はじめ半勝不利だった宗達、中途  
から盛り返し、ます一局勝って  
まつ。源三郎に多額の金を賠  
けでもうけてきた五郎蔵(小松  
方正)は刺客を放つ。重傷の宗  
達の手などて市が駒をつて  
いた。撮影渡辺貢。2月29日。

第21回「契り裏」「中村努・勝新太郎」  
内藤国雄がヒョウヒョウとしていた。  
撮影牧浦地志。3月21日

内藤国雄がヒョウヒョウとしていた。  
撮影牧浦地志。3月21日

第22回「浪人子守旅」〔東条正年・太田昭  
和〕財津一郎の良さとよくこなしたとは、いい  
難い。へんな武士・瀬波儀衛門(財津)は、難  
い。幼馴児を連れて旅をしていた。姫義子の彼は、  
家つき娘の妻しす(美川玲子)の横暴に耐えか  
ねて、家出したりた。妻や姑は自分を人とも思わ  
ず、種馬のように扱つたのである。娘見を取  
り戻す交渉に来た使用人(潮健志)の置いてい  
った着物を右に置き、左に自分が坐り、真ん  
中に腰掛け置いて、どちらをとるか迷はせるシ  
ーンがある。足は着物の方へ行きかけ、結局父の方  
(江木俊夫)とおちう(栗田どうみ)が、こち  
子宝騒動に際して、財津の味方をする結果と  
なる。旅を続けようと宿を出た儀衛門は、刺客  
に殺される。撮影牧浦地志。3月7日。



第22回  
2月4日付 読売新聞

第22回「浪人子守旅」〔東条正年・太田昭  
和〕財津一郎の良さとよくこなしたとは、いい  
難い。へんな武士・瀬波儀衛門(財津)は、難  
い。幼馴児を連れて旅をしていた。姫義子の彼は、  
家つき娘の妻しす(美川玲子)の横暴に耐えか  
ねて、家出したりた。妻や姑は自分を人とも思わ  
ず、種馬のように扱つたのである。娘見を取  
り戻す交渉に来た使用人(潮健志)の置いてい  
った着物を右に置き、左に自分が坐り、真ん  
中に腰掛け置いて、どちらをとるか迷はせるシ  
ーンがある。足は着物の方へ行きかけ、結局父の方  
(江木俊夫)とおちう(栗田どうみ)が、こち  
子宝騒動に際して、財津の味方をする結果と  
なる。旅を続けようと宿を出た儀衛門は、刺客  
に殺される。撮影牧浦地志。3月7日。

第23回「幽靈が市を呼んだ」「中村勢・黒木和雄」丁寧ガイドにはタイトル「さらば幽靈」とあるが、たしか、「こんなタイトルだ」と思う。シリーズ中の傑作。黒木和雄が、情感こまやかで鮮烈な演出を見せる。撮影は渡辺貢。ある宿場で、幽靈の噂を市は聞く。宿へ通された市は、誰かいるのかを感じる。だが、誰もない。市は数日前のこと回想し始めた。伊三歳（原田芳雄）といふ無法鬼、力強い男のことを。伊三歳は女道中師・千両のお富（江波杏子）を見て驚いた。そのわけが次第にわかつてくる。伊三歳の背中の彫りものは、恋人おしげの像であるが、それがとお富はぞくりなのだ。おしげは、やくざへ丁徳に強姦され自殺した。怒った伊三歳は、丁徳をたたき、斬つて行方定め旅に出たのだ。伊三歳とおしげのことを市は、おしげの父で彫り師の忠七（信欣三）から聞く。伊三歳からは、市は背中の彫りものを見せて、「もう、ただけだつたが、市には伊三歳にとってそれかいが大切なものであるかわかったし、伊三歳も又、市にだけ心をひらいて見せてくれたのだった。伊三歳はこの故郷の宿場へ戻つてくるはずだったのが、伊三歳は無念にも丁徳の身内に

転られたのにちがいない。彼は背中を転られた。背中のあしげの像が幽靈となつて、市を呼んでいたのだ。市は靈感をたどつて、ある川原へ来る。おしげの像が現われて、消えた。消えた所に伊三歳の死体があった。背を斬っていた。市は、仕込みをふるう為に宿場へ。

3月14日

第24回「大利根の春はゆく」「新藤兼人・森一生」ばくち打ち、かわうどの源太（なべおさみ）は、市にすゝこんで人に負け、最後は女房（丘みつ子）を賭け、また負けた。源太に愛想をつかずふじは、勝手に市のあとにつづいてきた。市は母の墓参に久ぶりで故郷へ帰る途中であった。寺は無住の荒れ寺にぽつりていて、本堂には旧知の浪人・平川伝八郎（夏木勲）がいた。撮影・牧浦也志。21日。

第25回「帰つて来た渡世人」「東条正年

子供だったのと、それを伸ばすには、最高だと考えて、とった手段だ、たのだが、佐太郎が帰つてくる。謙吉（草野大悟）の店の屋根裏に隠れる。兄は凶器持ち、弟は役人という宿命のいたずら。松五郎は、自分の心を記した後自害する。父の気持ちを次郎は、ようやく理解する。

撮影・渡辺貢。3月28日。

おみみ（井原千春子）辰巳（五川伊佐祐）

第26回「鶴力アーティスト市が来た」「星川清司・岩元南」「太田昭和」助・中務忠、僕作。

これは喜劇。ちっぽけな鳴村で、ふた組のやくざがいがみ合つていた。どちらも本当の喧嘩をする元気はない。が飯屋のおみみ（井原千春子）を争つた。おかみは、やくざと関りがあるというので、村人からは冷たく見られていけるか、彼女自身は（今たくみら）このふたつやくざ同志で、とり早く喧嘩して、女倒れになつてしまふらしいと思つて。従つて、ロハ丁、ライバル意識をあつたりて喧嘩のあ譲立て、高木均は助っ人に座間市を打み・深江章喜は助っ人に若林豪をたつむ。あたりともとケチ。市と若林はお互に自分たちがついたと反対の親分へと、自分を売り込みにいくが、高木均は市がいう、手前なへか不用と若林を袖にしつぶしなけケチなのだ。深江は、同様に市を袖にする。あわやどう時に関八州の役人（藤村有弘）が当場、喧嘩はフイになるが、おかみと市の機転で役人を追いかけてなく喧嘩。若林がまずフリと現われる。喧嘩といつたつて、最初から自分たちにやる気はなく、高木は市を、深江は、若林を当てにしてついたのだ。高木は、現われた

若林にせいで助けてくれたのが、若林「お前、ほんとにバカだな」と転り捨ててしまふ。深江、大喜びするところへ、市が現われ、深江は、市も血祭りにと襲いかかれて、転られてしまう。さて、市と若林の決闘なるかと思いつか、ふたりはニヤニヤ笑って別れる。本当に弱いやつは喧嘩しないのだ！

おかげで、村人たちに祝い酒をふるまう。はじめは志ま子にして、いた村人たちしだいに店の中へ。撮影・藤井秀男。4月4日

第29回「旅人の詩」「中村努・勝勢」  
「新藤兼人・中村努・リ森一生」  
文宿に妙な男がいた。一人は、もどしゃぶりである。市がとまた一人と医師という坊主（藤岡啄也）。もう一人は、妻に食食をさせて、自分は因いづくために表情をしていふ侍（竹脇無我）。

お竹（佐藤オリエ）、元萬（石橋蓮司）  
清松（志賀勝）

第29回（最終回）「終りなき旅路」

と将棋を指して、「こののが、侍で、侍たゆでケンカになり、転つてしまつたのだ」という。

文宿に妙な男がいた。一人は、もどしゃぶりである。市がとまた一人と医師という坊主（藤岡啄也）。もう一人は、妻に食食をさせて、自分は因いづくために表情をしていふ侍（竹脇無我）。

準備をするからと別室にこかつた小ぢ。時

間がかかりすぎると、からかみを開けると、彼はない。逃げた。

数年の苦労が……しかし侍はあきらめは

い。藤岡は「なにかと思えば、たかが将棋の

ことから始まること、つまりいことに命

をかけ、妻子を犠牲にして、あんだけクズ

していった頃、あの妻（原田英子）

が、来た。主人が病気だという。

侍の話を聞く。藤岡が医師を

呼びつけてみると、あまり物を食わなかつたの

で、発熱した。食わせてやると治つたが、

治療代がない。そこで侍が、妻の様で払

うと言った。藤岡は怒つて追い出した

が、どうしてもこの二人のことが気に

行つてみると、どうでもこの二人のことが気に

なつてならない。それで医業をたたん

て、とにかく金を払えとつけ回している

が、この話をして、侍は、深く残念がり、一

いの末、深傷をおい、一文宿で絶命。

この話を聞いた小池、深く残念がり、一

第28回「上州やらば歌」「東条正年  
・太田昭和」二種の証印所をやってい  
る娘に高橋洋子。舟の渡しの些細なあ  
かりで、子供たちの食事費をまかなかつて  
いる。土地のやくざが、いやがらせをする。  
市が、この渡し場へ腰を落ちつけてからは、  
ますますひどく、村人をあざして、娘には、  
食事を分けるな、市をなぶれ等……。  
仇たちが、市をなぐる村人たちに泥のつぶ子には、  
てをぶつけるシーンあり。やくざのひとりに蟹江敬三、撮影・藤井秀男。

4月18日

市つぶん……と小池倒ぬる。斬りかか  
る小池の気持ちを察した市が仕込みを抜

き、妻が、と止めを刺す。これでいいんだ。

市には、親分を失った組の刃が、ふりかか

く。ついで、はやる侍をなめて、小

一文宿の主（遠藤太津郎）

4月25日

愛は、特に座頭市の愛は星のようにならしく、又はかわいらしいと言ふとしているのだろうが、稚拙なセットが惜しい。死んでしまった朱奈代。

### ③ 128 「二人座頭市」

繰り返し述べてきた座頭市の弱者に対する圧倒的虐殺とその為に行使する居合切りの冷たい刃えが、全然と矛盾なく融合した傑作である。

話はこの種のヒーローものによく使われるごせ者が登場し、本者を混乱させるもの。過去に見たこの種の話の全人がごせ者ばかりに足らぬ小悪党で、亮名行為とか金縫きとかいう己れのさうやかの欲望を獲得せんが為、本者が出現した時はコソコソ逃げ出すに決まっていた。そこには単にヒーローの頬もしさを一層浮き上らせる為の手段とする見方しか無い。人間を冒瀆するにもほどがあろう。

『二人座頭市』でのごせ者市松（植木等）の動機には、このような紋切り型とは違った人間の心の広さを遂なでるような面がある。ここで市松をごせ座頭市へと馳せ立たせた性悪女（浜木綿子）の存在が重要な鍵をにぎってくる。市松はとくに角 この年に心底惚れた。彼女に逃げられたくない為、言つことは何でもハイハイ肯いて実践するしか道はない。かに喰いものにされても知らず、ひそかに笑く男の可愛いらしさのようなものを、植木等は弱々しい表情で絶妙に演じている。浜木綿子のおかげも、女の武器をもって男をあやつる典型的な悪女を、その徹底した悪ぶり故にむしろイヤミなく表現していることで見事であった。

さてこの作品での座頭市は、市松との関係を一歩離れて見能える第三者的立場にいる。ここで市の美点があらわされる。スーパーヒーローとは言っても、彼は男と女との関係ばかりではなく、その時をして生きている人間には、例えそれが間違っていたとしても説教めいたことはひと言も發しない。ぎりぎりまで放置しておき、もうこれ以上では破綻するのが誰の目にも明らかな時はじめて手をさしのべる。ここでは市の欠点、である弱者への徹底的寛容さからくる弱者自身の無反省・甘えが厳しく咎められている。座頭市と市松が幼なじみであったことが、この点を考察するのに絶好の設定となっている。幼なじみといつもいは年少の頃、まだ純粋な心でいた頃に、全人格をさらけだして相

手とあけあつものとして忘却がたい存在となるものだ。偶然の再会…ここで座頭市は市松が子供の頃と少しも変わらぬ弱虫で純粋な人間でいることを確認してホッとするとともに、こゝではとても世間の荒波を乗り切れないが、ましてやとりついでいる女が悪女では、とても市松を任せきれるものではないと直感的に悟ってしまう。何とかしてわからせてやりたいがズバリと言うのは忍びない。そこで非常に残酷な行動をとることにより、市松が失いかけていた己れを見つめ直すことの尊さを呼び起そうとするのだ。残酷は行動とは、おけいの誘惑によるものである。この時、市松はおけいのつもりで他の女と寝ている。勿論おけいの企てのこと。市を人格的に申し分のないヒーローとしてどうしようとすると、この行動は理屈ではわかるが心情的には許しがたい。しかし、これらのことも結局幼なじみとして市松は何より大事であり、ダメになりかけている市松を救ってやりたいという優い気持ちのあらわれとことらえて理解できる。

後半、ヤクザに殺されかける市松を市が救うシーンがまた見事である。自分の芝居がばれて殺されるのに気づいた市松の弱者を代表して表情、ひたすら助けを乞う哀れな單の姿に、何でこんなバカなことをしたのかといつも後悔の念が漂う。ここではあれほど懲りていておけいのことなどどうでもよく、とにかく死から逃れたい気持ちが優先している。死を最大の恐怖と把える弱者（僕も全く同じ）のせっぱつまに单は痛いくらいのアルである。

ここで市松があけなく殺されるようでは市の存在意義はない。通俗ヒーローものと一見全く変わりのない登場が、実はしたたかに合理性に裏づけられていることが理解できる。市松が市松を救済したことで、市松のこれまでからの生き方に確かな進歩を与えてくる。「女なんかもうござり」という獨白にこの弱者が少しだまともに社会人として生きであろう可能性を感じる。また去っていく二人を茫然と思つめるおけいにもう後いくらかの悔いをもった女として男と関わっていくであろう好ましい予感があった。

ここに至って座頭市のヒーロー像は、あらゆる人間をより価値ある方向へ招来させる伝導者の姿と重複していく。（豪爽につづく）

# 優しいヒーロー座頭市

我々はみな、さぞまな本能のいたとしてヒーロー願望を与えて誕生する。特に弱い人間ほどこの願望は強烈である。そのような者にとっては、自分に不可能なことを成しとげる他者は無条件に尊敬し、贊同しあるものである。

座頭市のヒーロー像は、基本的に弱者を救う為の強者であることで位置づけられるが、彼が盲目であることで一風変わった性格を帯びる。盲人は一般的に普世人より劣っていると規定される。つまりこの点に関しては、(不利) 座頭市は徹底した弱者なのだ。しかし市の偉いところは、自分が宿命として抱いた弱点を反発の糧として武芸の腕をみがいて圧倒的強さを獲得したところにある。一個人の内面に弱さと強さを兼ねあわせる弱者の心情を経験的に理解しているからこそ、市の弱者救済は時としてあまりの寛容さにしらけるどころもあるが、価値あるものともなるのだ。人間にとっては悪である甘えを市は限りない優しさで包みこむことで善に転換させているのだ。この価値観の転換は觀念の世界に埋没する藝術作品では理解しかねる。話が通俗的であればあるほど座頭市のキャラクターはより光采を放つて僕の心に刻み込まれる。

以後は上に述べた僕の座頭市観というものをふまえて進行する。

## ①'74 10月「祥月命日いのち鐘」

この作品は映像美の素晴しさが強く印象に残っている。

季節は夏。市は川べりを歩く。あごからしづくと下へしたたり落ちる汗。まさしく焦熱地獄。体から自然ににじみでる焦燥感。爽やかいい暑さを見るものにも感じさせてくれる。

アーヴィング・ミドルとコング、各ショットの巧みなつみ重ねによる緊張感、敵の看ごしから撮影した市の表情、燃えさかうような眼、キラリと光る刃の冷たい輝き(加藤添か)お見事と拍手したくなつた。

## ②'75 「忘れじの花」

ヒロインが十朱幸代であること期待して見た作

# \*木下啓司

品である。話は脱線するが、僕がこの年優さんを知ったのはNHKの連続ドラマ『おねえさん』といっしょである。今はあまり見られなくなつた(気がする)庶民的で健康で明るい娘をほんと日本の人柄そのまままで見てくれたように思える。次に日本の女性としての情緒を優雅に表せる人だと意識させたのは『日本侠客伝』において無知で気のいい健さんに慕われる役で登場した時。小沢演出も深めていたが、後任侠映画を見て泣くといつ新鮮な初体験もこの時であった。昨年の『黒名錆張荒戦』の女郎役は世間にもの価値を認めさせた好演ぶり。ここに至って十朱幸代は単に優しいだけではなく、男の身勝手を許せない、自己主張しうる女と変遷した。相変わらずの穩やかさに包まれて。

ところと『忘れじの花』のこのキャラクターも以外とは言えない。もうひと年のいった浜木綿子あたりにやらせるとピッタリの役だが、十朱はみがきのかかった女の性(さが)といつもの力を演していた。多分無理しているなあと思われるのだが。しかしこの作品で見せたいくぶんニヒルな女郎役は、この女優がこれから新境地を切り開くのに絶好の素材と思え、以後の作品にどのようにこれ表現するのか期待するものである。

かつてこの女郎と恋仲であったが裏切り身売りさせた張本人佐吉(山城新伍)の無残な死にざまは後味の悪いものがあった。ここには、弱者を見つめる優しい目の裏に秘めたキビシサを感じさせた。救う価値のある弱者とは、己の弱さを認識したうえで、ひたむきに世の末端で生きている者なのであり、佐吉のようす弱さから生ずる小げるさで、うまく世渡りしようとすると助ける価値がないとるに耐らない人間となる。時々『座頭市』を見て、ソーンとすることがあるが、単に怪異な容貌によるものではなく、我々凡人に測り知れない己のと他者に対するキビシサを感じさせるからである。これらのことは次の『人座頭新作』に於て更に発展させたいと思う。

市と女郎の愛のシーンに見られる星空の美しい故に季節は秋。このシーンは男と女

この作品の素晴らしいところはこのあたりのことのようにな  
思えます。

## ④「赤ん坊喧嘩」'75

『二人座頭市』がヒーローとして市が備えた並はずれた人間の素晴らしいを認識させた傑作と言えば、この作品は市が平凡な人間として備えている魅力をおし出した傑作といえよう。

故あって母を失くした赤ん坊を連れて旅する子連れ座頭市。市は徹底した子ばんのうござもある。また彼自身 子供のような純粹さを失っていないところもある。赤ん坊におしゃべりをひっかけられてイヤな顔をしても、いつまでもこの子を離したくない優しさを持つが故にすぐ嬉々とした表情へと転化する。ここでは超人としての座頭市ではなく、名もなく貧しくも子供と思う気持ちちは誰にも負けない世の平凡な庶民と同一の人間としてのキャラクターが浮かびあがってくる(僕等の好みから言えばこの二つは市の方のがより好きだ)座頭市には毎回必ずといっていいくらい自己と闘り合う事が出てくるが この作品ではスリの大谷直子。『忘れぬ花』の本郎といい『二人座頭市』の性悪女といい 市が闘りを持つ事は不思議なくらい汚れたかばかりである。話が進むるが、最近映画を見ていて、つくづく汚らしいもの程 何ごとかを表現する可能性が強いと感じている。美しく汚れを知らない人間といつものが全くダメといつだけではないが、その種の作品にしばしばみられるウソくことか僕の認識をより強固にしているのは確かだ。汚ないものがいいといつてもその洪水は露悪趣味だ。ほどよい調和をもった汚なさが悪求まる。これら汚れた女の魅力とは自己がそのような状況に陥れられたことにより、逆に社会悪への抵抗の精神を培養させ、したたかに居直って生きる。ことで果敢な挑戦姿勢を感じるところにあるのではないか。特に大谷直子は燃えるような激しい女を演じており、上所述したことと最も符合している。またこのような激しい女ほど男を思う気持ちは一途で可愛いのはどうしてであろうか。市はこの女に惚れる。例によって女の気持ちはわからぬだけつけない。女にとっては不

可解である。「アンタどうしてわからぬらしいの」風のいいじらしさを大谷直子は巧みに表している。季節は秋ゆえ モミジが再び出でくるが、勝新猿出は市と女の交錯してはスレ違う思いのいいいたさをこのモミジに仮託することで抜群の効果を示している。山下耕作 作品を想起した。

中山仁演じたかつての三下、今は土地の大親分(実は赤ん坊の父)の悪ぶりが紋切り型でなくリアリティを感じさせて面白かった。丁度『仁義なき戦い』シリーズの山守親介のように懐病と小賢しさだけで地位を保っている不安定さを中山仁は若干コミカルに演ずることで想起させてくる。死に際の泣き声がそれ故に一末の哀感を含んだホロにかいものとなつて印象深い。勿論 市はこの男もたたか転るしかない。中山仁のホロにかさと同時に人を転らざるをえない状況へおいやられる市自身のホロにかさがたつて異様な寂しさを感じた。これは以上述べてきたに優しいヒーロー座頭市が運命的に構えた宿命のようなものであろう。

### ワキ役列記

- ①チャンバラトロの三枚目ぶりのみ印象強し。ダイニチで目立った青山良彦はどう役だったか覚えてない
- ②兄弟分の悪党は高木均と千波丈太郎。ともに薄気味の悪いそのツラは山城新伍を惨殺するところで抜群の迫力をもつた。
- ③植木等の快演は長く印象に残る。遠藤太津朗の率いる一家に東映などみの園一太郎がいた
- ④賭場の壇振り師は『仁義なき戦い』シリーズでおなじみの志賀勝。温泉場のシーンでかつての漫才コンビ 青空はるか・あきおのあきおが久しぶりに長いウマツラをみせる。資料では横山あきお。岸田森がまたまた異様なメーフアブで登場、少し食傷気味。かつてアレしづかりや、こいに理知的だけ清年をそろそろやる頃では。

(1975.2)

# キューバの日本映画

\*三好田郎

去年（一九六九）はじめてキューバへ行った時、キューバにおける日本映画の人気におどろいた。なかなかなく、座頭市・三船・仲代の大人は気は大いなものである。私は日本では座頭市映画を一度も見たことがなかったのだが、ハバナで「座頭市いあいさり」というのを見た。観客のわきようは大へんである。拍手だけではなく、子供たちは足を踏みならし、歓声をあげるのである。こちらも樂しくなうづといふものである。社会主義の国になったキューバの子供たちにとっては、座頭市映画のあの勸善懲惡的な話が非常に魅力的だという点も一つの理由であろうと思われる。地方旅行に出た時、ある町で散歩に出で三軒の映画館の前を通りましたが、三軒とも日本映画を上映しているにはこれまでおどろいた。

今年（一九七〇）キューバへ行つた時、試みに8月中のある日曜日に、座頭市か庄倒は、的に入気のある点について説いていた。（M A O）

（週間をとつて、ハバナ市内でどれだけの日本映画が上映されているかを表にしてみた。作品数は、「御用金」）

「丹下左謙」「三匹の侍」「佐々木小次郎」「黒部の太陽」等全部で24作品にのぼり、これを上映した映画館数は延べ54に達した。

代劇に「う現代劇にしう、実によく日本映画を見て、なりぐらいである。日本映画とならんで多いのは、むろんソ連映画で、それに次いで東欧映画、スペイン映画である。英國映画、フランス映画、イタリア映画もむろんときどき上映されている。

右の一文は、日本キューバ友好協会東海支部が出版しているパンフレットによる。PARTIに記してある。PARTIは、二年、座頭市「」をベストとする。コブ市、座頭市の、鏡の裏には何もありはない。

11

ザトウイチ

あれこれ\*トピック

井邦彦に、座頭市か庄倒の端在中にも、イヤップリンの「独裁者」が上映されて訪問田田長。氏は同支部のキューバなお筆者の三好田郎

★新・座頭市山は、思保寺生郎・角谷優に荒井久一に市古聖智が加わる、三人（西岡・真田・市古）になつたこと、盲楽が

を石原裕次郎が歌つて いることが  
えた変化であるか。殺陣を楠本  
一が指導。

いき 品のて力でほけて風痛和出市にがるにがるに品と  
た低撮で市ル秀ども山快が「」を  
がく影あががだれ「」を  
間許者る詭來つて三て「」を  
置価につて一貢めに渡事は書貢  
いであるよ。うなに渡邊は書貢  
華麗で書貢

力でほけて風痛和出市にがるにがるに品と  
た低撮で市ル秀ども山快が「」を  
がく影あががだれ「」を  
間許者る詭來つて三て「」を  
置価につて一貢めに渡事は書貢  
いであるよ。うなに渡邊は書貢  
華麗で書貢

ては、新座頭市△のスタッフに  
本あることが特記事項だろう。  
品はそれも佳作である。勝新演出作  
は吉玲永は真野簪子主演の「月の夜」  
池や百合、新座頭市物語由美かあまさへ生き  
勝新監督で劇場映画を作ら  
せる製作者はいないものか。

ないが、手堅い撮影だと判断す  
る。牧浦志と森田富士郎だけ  
じゃないのだ。

★ キャストで石橋蓮司の多出演  
が目立った。千ヨイ役で彼より  
多く出演している人はいるだろ  
うが、石橋蓮司は「座頭市物語」  
で私が見た数本中にも2本出演  
していたし、今度の「新座頭市」  
にも3本程は出演していなかった  
う。面白い人だなア。

★ 新聞記事に「新座頭市」で  
は「新座頭市」を無名の男に「」と  
あつたが、これは最初の数回程  
度。他は話も半ばすると「ザ  
トーライチ」という尊が広がる  
うのがほとんどである。

四季の情景、自然の変化が毎  
回とえられていた。樂しみだった  
た。しかし、納得いかない話をあ  
う。納得いかないといつより、こ  
きか。例えば最終回「」終りな  
子のまま逃げ切らぬ我を転つの  
分たちが竹脇朝雄はなぜあ  
こか。

MAOの「血と汗と涙」を次  
読み下さい。(前・5・5) に

しまった事を知った後で、逃げ  
ける訳にもいかない、専  
けじやないのだ。  
全うする為に、戻ってきただけ  
が、それでは食当りから助  
た。そのあの芋がユのうまさへ生き  
との実感とはどうなるのか。  
た易く自分の命を捨ててしま  
よいものだらうか。小池朝雄に  
子分のところへなと戻らず、迷  
切て欲しかった。小池朝雄の  
人生も終つてしまい、向が竹脇の  
旅路なんだ。終りな旅路終りな  
続けるのは市一人とは、いかない  
力ツコよすぎるじやないか。  
え話は「董丁あがり」とは  
とも、小池は小池で竹脇はい  
市から見れば無意味な旅を続  
いく方向へ話を持つていい  
私はよかつたと思える。  
待つた「待たね」で喧嘩が  
うのは伊藤大輔監督「下郎の首」を想  
「これは傑作。内容的にも技術的  
にも素晴らしい」の発端と同じで、  
私は「下郎の首」を想い出した  
ら見てしまった。ヘキネ同讒者  
下郎の首「評今年は、実は  
私が「的」いのがてりより無旅げはてうこ時だを続

# 血と汗と涙

原形質の海

MAO \* 藤田眞男

ラや時りの。海形ぞもい空うすのいごとくは粘膜人間の情緒が、  
のフタは変形を成え化本にはそして、多分に皮膚や  
・い海抗に皮膚なりまか棲ご海にここの氣分や霧囲気が、  
つけの力ほほ強な自ら活動するといふ事は、外かどながつて、物な保存してしまふといふ事は、  
まりいけ戦腺けでほほる。やいどん。人へはる。人へはる。  
告分泌なつてほほる。よ海が原因とれば、よ海が原因と  
いいば、よ海が原因とれば、よ海が原因とれば、

と画区マ旬報と改称され、その映画は完成され、用記画  
い作やエツセーに、燃えついてほくはる。人へはる。人へはる。  
うようなことを強め、喜びはる。人へはる。人へはる。  
述べて、自信を述べて、喜びはる。人へはる。人へはる。  
いた樂たる。映る。映る。

「さて、安部公房と勝新太郎とのよう燃えついた地圖」に勝新  
シンド記す)が主演した二ぐらシテ、大した関係はない。  
本文ともあまり関係はない。

陸に赴する海の自己防衛の闘いは、いかにもうものも、要するに外分泌腺にしがすぎず……  
(安部公房「第四回氷期」)

精悍さんは自分の身体つきという例は

「燃えつきた」という映画は、多分が、あやふやで、たしかつた。映  
されたりと改称され、その映画は完成され、用記画  
い作やエツセーに、燃えついてほくはる。人へはる。人へはる。  
うようなことを強め、喜びはる。人へはる。人へはる。  
いた樂たる。映る。映る。

「高倉健無宿」の口語中、共演した  
者者にうまいこと云う役者だけだ、ゆくた  
にうまいこと云う役者だ。毛穴の名言で  
いうかシユな自分では和製ヘルル、シユジ  
いレツシシャーでもういかつた。二つとも汗をかく  
うかシユな自分では和製ヘルル、シユジ  
二つのきい云つてはる。思ひ出か  
も人皮感覚を裏に切るには、形と力

二の言葉、マジメなのが皮肉な  
のかよく判らないが、いかにもう  
カツシンらしくて面白い。かにもう  
後においと全面的に開花した「頬役」  
いわゆる。そして、その自信のほどは、  
おらずだ。監督主演した「頬役」





ビートルズ・ナンバーを実際に巧  
みに唄つてのける。もううん。  
語ご。レコードも出でいる。唄  
は巨泉よりうまいのだ。

大東亜戦争と呼ぶ。どうでもいいけど、カッシンも

伴い拡いでは水いいみよ、うわがてはっぽうな感動はおぼえるもの哀しさ。  
「顔役」のラスト・シーンを  
うもくりいなぽい感動は、せんチメニタルなもじり解たが、おぼえらるるもの哀しさ。  
うわがては、せんチメニタルなもじり解たが、おぼえらるるもの哀しさ。  
うわがては、せんチメニタルなもじり解たが、おぼえらるるもの哀しさ。  
うわがては、せんチメニタルなもじり解たが、おぼえらるるもの哀しさ。

「新座頭市物語」  
に波だ海トが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。  
ううが、シテ息づん。

どだれ　な気で満側れた　二。  
二・士そかづあ足かに。  
ま死海うし、いりしらニとく。  
ござんは、いたたたたに。  
も少いに、間。  
流れは、何もなく、  
少い小島を、夜。  
れは、波もか。  
づけに飲が絶え  
んこ返た。  
ぐんさ。

音樂をたしかめるためには、耳、  
最後の力をふりしほ。  
想像の中には、耳、  
トヨロと歩み去る。ロング・ショット  
映画は終る。

海原。どこまでも繞く白い砂漠。  
が画面の右から左へ、傷ついだ市市  
砂に足をとられながらヨロシキロ  
トヨロと歩み去る。

（「第四回氷期」）  
砂漠を歩み去る瀕死の市の耳  
に、波の音楽は聞えなかつたか  
もしれないが、潮風が眼を洗いに  
彼の眼の中にも海が拡がつたに  
ちがないのである。

督勝プロオフ作・勅使河原宏監  
燃えつけた地図



76/10/8

京都・大映のオープンセットで記者会見する勝と浅茅。天下の勝新も、この日ばかりはワキ役だ

22日、フジ・関西系放送の「新・座頭市」にゲスト主役



「さすがベバちゃん、いやー一大物だねえ」

(22日放送の「新・座頭市」)  
(フジ・関西系)。待っていた  
人。遙にゲスト主役として浅茅陽  
子を迎えた勝プロの面々、その  
スケールの大きさに、にこさんが  
羨慕だ、といった顔見えた。

# 浅茅陽子の真金で天下の勝新へハラダ

態度も演技も大女優

口ケでは森監督に『注文』

勝、森監督  
ベタほめ

時代劇出演は、昨年、「滝山の  
金のこ」にゲストで出たところ  
であつたが、「別ひひかひい」とはわ」。

「森のひひかひい(大人気者)になつた結果。知名度は一躍大スター並みになつたが、たがたかづらニーハードが三年の新人女優。『まあ、おらが親分の胸さ腰振りでせこせこ修業するがい』といふこと思つたどりどりだが、天下の勝新太郎に惚すまいのが、初田から思つた」と怨べべべ。態度もがたがたや、演技もめちゃくちに大女優の質鑑なのだ。

三田、京都・龜岡の千代川河原で行われたロケーション。

森一生監督が、市と連絡の手を取らなければならぬと心配するので、駆けつけた・宿場女郎の浅茅のアップを撮つていた。今回のロケーションのおひるぐの本番。最初の撮影は、たたき合

ショノ、最初の会話は、たたき合。当然で、筋肉のいいまで話しかけるのが勝プロ方式。だから、新人の浅茅が大げなラブの森監督に注文をつけても怒じかまわないのである。が、小ねめ、ベタほめを相手に口をきかねば相手の血筋と筋肉が悪くなる。

M.G. MAOより、沢山の「座頭市物語」の切り抜きを頂戴した。スヤスヤ無いのと、しませば場所を忘れたのか、あらためて報告したい。 17

最近では貴重な役者。

ついで、喜木達子が、「喜よの が出来た人が珍しいなあ」と苦笑  
する「あいぱく」時代劇由田いたが、「寝返し」がまだなか  
たと騒ぎだ。わざわざいじつをめぐらすが、このものついてるが、自分のわ  
いせいか、かのふくやオトした感 が生まれしそうが立つといふ  
ことがありたがゆゑ、撮影所での 「おはな」と女優としての方も騒ぎす  
る。『喜』は、ぐいと頭を振りて、あた  
るがち、のむむむむむむむむ。  
「喜」の上自分のバーチンをひり  
こねた園子たかの、めぐらすが  
浅茅シソが腰をわらぐの、  
が、森監督まで「喜茅シソ」。  
さきがの『喜』も「喜茅シソ」  
だ。いわば、あいかまび個性  
の、いわば、あいかまび個性

打合せたがりの脚力があ  
るんで、正直、ねむこじるんで  
お使わざだ大事にしつづいた  
おはなを喜ぶ。くつかた

▲「喜」の座頭市



1976.9.28(火)読売新聞

## 「存知ですか

### 「座頭市」の誕生

天保の頃、下総飯岡の石渡助五郎のところに座頭市という盲目の  
子分がいた。どこからか流れ込んで来て盃をもらつた男だが、もう  
いい年配で、でっぷりとした大きな男。それが頭を剃つて、柄の長  
い長脇差をさして歩るいているところは、何う見ても盲目などとは  
思えなかつた。

それだけに、物凄い程の勘で、ばくち場へ行つても、じつとして  
いてにやりと笑つた時は、もう壺の内の賽の目をよんديて、百遍  
に一度もそれが違つたことがなかつたという。



壺ぶりはちらツと市の顔色をうかがう、丁なら丁、半なら半、か  
ねて打合せの合図で知らせる。これに狂いが無いんだから、市がそ  
の場にいるがぎり、ばくちの盆は全く壺ぶりの思うようになつた。  
どこの生れか、どんな素姓の奴かわからないが、とにかく、接摩

# 「座頭市」を無名の男に

勝新が抱負

で関八州を股にかけて渡つていた者で、みんな見た通りに座頭々々といつたが、市という名も市太郎か、それとも出鎧目か。わからなかつた。

(中略)

ハシナレヒ系列十月四日おひ鍋  
ある「新・座頭市」(月曜9・)  
は主演する勝新太郎が、今度  
のシリーズの「新」の意味をこね  
ながら語る。

「いままでの座頭市はおまつり  
も初めにならぬが。次郎根や大  
助田路五郎など、「あい、座  
頭市だ!」で必ず事件に巻き込まれ  
れた。今度は「有名な市をスペ  
シアル」ということで、無名の座頭市  
が登場する。

勝新の座頭市は、いつの間にか  
世間では有名。テレビ放送は一時  
間物一本を一週間で撮影するが、  
勝新の場合は二日以内でいい。  
「勝新はオーバーかねえ。  
ハロヒロアヤ娘だからいい作品  
じゃない」などと意図している。

「勝新は、『五十分番組でCMを取り込む』  
といふ、ええな、男が、あの手品  
を想つものにして、腰巻に切らを  
取らせる。『座頭市だから男だらけ  
だ』じゃないで、『あんな男が、  
ハ、何度も吟味』、カット撮影す  
る。これが当たらぬ仕事だと思  
う。撮影日数がオーバーかねえ。  
ハロヒロアヤ娘だからいい作品  
じゃない」などと意図している。



新シリーズに登場する勝新の座頭市

「勝新」はプロダクションの社  
員とは違いない  
が、手際よく仕事  
をこなせる経営者。  
だから、作風は熱  
っぽいといふ。  
ゲスト出演者たち  
に好感を授かる  
ようだ。「今度  
は、『新』だね、  
あらゆる工夫をす  
る。座頭市がなぜ  
刀を使うのか、な  
どなどを解明か  
すために、少しこ  
と熱心に相談を図る。

代がひの回想も語り入れる。曰  
が思えないため、いかに耳を起つ  
劍上達していったかも描きた  
い。たとえば、トンボが飛ぶ音  
を、ジーンと聞き分けの耳、銃  
の撃発音をかき分ける耳、銃  
効果的表現をひくの」とを説いて  
いる。

「新・座頭市」  
10月4日から  
月曜日夜9時放送

子母沢寛作「座頭市物語」より

この作品は、子母沢寛が、たまたま立ち寄った千葉県飯岡の、とある旅館の老主人の話を聞いて創作した。「ふところ手帳」に収められた掌稿のひとつ。映画「テレビで名をはせた座頭市物語」誕生の源である。

ハシナレヒ系列十月四日おひ鍋  
ある「新・座頭市」(月曜9・)  
は主演する勝新太郎が、今度  
のシリーズの「新」の意味をこね  
ながら語る。

「いままでの座頭市はおまつり  
も初めにならぬが。次郎根や大  
助田路五郎など、「あい、座  
頭市だ!」で必ず事件に巻き込まれ  
れた。今度は「有名な市をスペ  
シアル」ということで、無名の座頭市  
が登場する。

勝新の座頭市は、いつの間にか  
世間では有名。テレビ放送は一時  
間物一本を一週間で撮影するが、  
勝新の場合は二日以内でいい。  
「勝新はオーバーかねえ。  
ハロヒロアヤ娘だからいい作品  
じゃない」などと意図している。

「勝新は、『五十分番組でCMを取り込む』  
といふ、ええな、男が、あの手品  
を想つものにして、腰巻に切らを  
取らせる。『座頭市だから男だらけ  
だ』じゃないで、『あんな男が、  
ハ、何度も吟味』、カット撮影す  
る。これが当たらぬ仕事だと思  
う。撮影日数がオーバーかねえ。  
ハロヒロアヤ娘だからいい作品  
じゃない」などと意図している。



この作品は、子母沢寛が、たまたま立ち寄った千葉県飯岡の、とある旅館の老主人の話を聞いて創作した。「ふところ手帳」に収められた掌稿のひとつ。映画「テレビで名をはせた座頭市物語」誕生の源である。

